

～異常事態宣言～

本年は、安全運転管理者選任事業所の交通事故そのものが急増しています。交通死亡事故は、8月23日現在、16件18人（昨年対比+5件+7人）と、多かった昨年を大きく上回っており、事故の内容をみましても、歩行者5人、加えて運転者側に全責任があると思われる正面衝突6人、単独路外3人が亡くなる事故が多発しております。これらの事故は、いわゆる運転者のうっかり、ぼんやりと思われるものであります。

交通事故を考えると、被害者、遺族の心情は計り知れないものがあり、また、事故当事者及びその家族、そして事業所としても大変な思いをされていることは容易に推察されます。

したがいまして、この種事故を防止するための指導のポイントとして、まず、地域で事業を営む企業の一員として、地域・職場の安全最優先の意識を自覚させるとともに、

- 交通事故を起こしたら、本人・家族、会社はどうなるのか。
- 何のために、交通事故防止が必要なのか。
- 道路は貴方(車)だけが利用する場所ではない。
- 企業は道路を利用していただいて利益を得ている。

など、向後の事業繁忙期等に事故多発が懸念されることから、事業主・管理者様が一体となって、従業員の仕事・私生活両面からこの謙虚さが運転時の行動に表れるよう各事業所の実態にあった方法で、安全運転に対する意識改革の徹底をお願いいたします。

平成30年8月23日(木)

一般社団法人
北海道安全運転管理者協会
会長 橋本耕二

※ 安全教育参考資料として、今までに配布しております安全運転管理者用小冊子、さらには、当協会のホームページ（会員専用）等を活用してください。